

企業における商品開発研究の魅力

花王株式会社

花王は、心をこめた“よきモノづくり”を通じて、世界の人々の豊かな生活文化の実現と社会のサステナビリティへの貢献を目指しています。“よきモノづくり”を通じてお客様に笑顔をお届けしたい。そのために多くの社員が部門を越えて協力して仕事に取り組んでいます。今回はスキンケア商品の開発研究に携わる若手研究員が花王における研究開発の実際と魅力についてご説明します。ご参加をお待ちしています。

商号	花王株式会社 (Kao Corporation)
本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 一丁目14番10号
創業	1887年6月 (明治20年)
設立	1940年5月 (昭和15年)
売上高	1兆4,188億円 (連結)
営業利益	1,435億円 (連結)
資本金	854億円
従業員数	33,507名 (連結) 8,508名 (単体)

2021年12月31日現在



花王 本社

セグメント別の連結売上高構成比

Kao



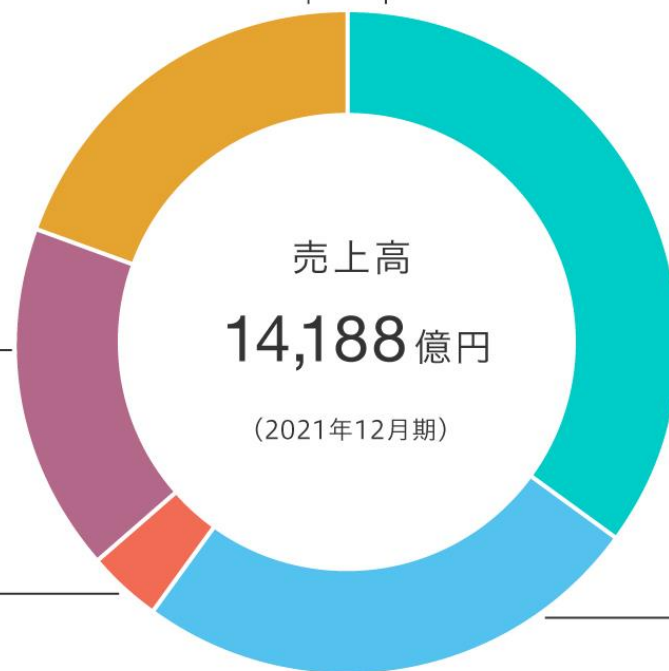
● ケミカル事業 19.4 %



● ハイジーン&
リビングケア事業 35.0 %



● 化粧品事業 16.9 %



● ヘルス&ビューティケア事業 25.0 %

● ライフケア事業 3.7 %

*売上高構成比は外部顧客に対する売上高で算出しています。

循環型社会に向けて、 プラスチック容器の完全リサイクル化をめざす。

花王は、包装容器のプラスチック使用量削減など、環境負荷低減に取り組んできました。そして今、プラスチックボトル自体をなくすという新発想のフィルム容器を開発。さらに、プラスチック容器の完全リサイクル化をめざします。

■包装容器への取り組み

容器のコンパクト化

内容物の濃縮化や容器の小型化により、プラスチック使用量を削減。

従来タイプ コンパクトタイプ



つめかえ・つけかえ用 製品の提案

つめかえ・つけかえ用製品を開発、普及を促進し、容器材料を大幅削減。



新しいフィルム容器による プラボトルレス化の加速

薄いフィルムに空気を入れて膨らませることで、ボトルのように使える新型容器を開発。つめかえパックと同程度までプラスチック使用量を削減。



詳細はwebで ⇒ <https://www.kao.com/jp/who-we-are/actions/recyclable-package/>

ファインファイバーが作り出す「Future Skin」が美容と医療の未来を切り拓く。

花王は本質研究に基づくイノベーションを通して、社会課題を解決すべく挑戦を続けています。ファインファイバーテクノロジーは、極細の繊維を吹きつけて、肌表面に軽く、しなやかな極薄の膜をつくる、全く新しい技術です。今後、医療分野も視野に入れ、様々な皮膚の悩みを抱える方々への貢献をめざします。



Fine Fiber
Technology



極細繊維で積層型の極薄膜をつくる



製剤の性能を飛躍的に高める



製品化の第一弾はスキンケア化粧品



「est」、「SENSAI」から発売を開始

詳細はwebで ⇒ https://www.kao.com/jp/kaonokao/kaonokao/003_finefiber/ff/

花王の実験室は大部屋制

専門性や担当する分野が異なる研究員達の気軽な雑談から、新しいアイデアが生まれやすい研究環境です。



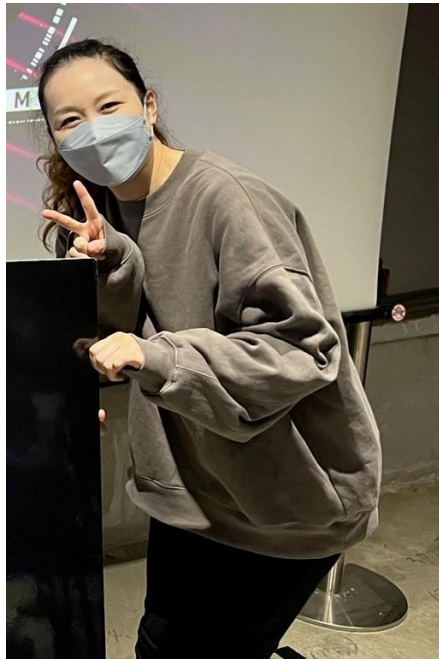
研究開発部門のPRビデオはこちら ⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=ONyQO7xLibE>



自己紹介

難波 綾 / Aya KATO-NAMBA

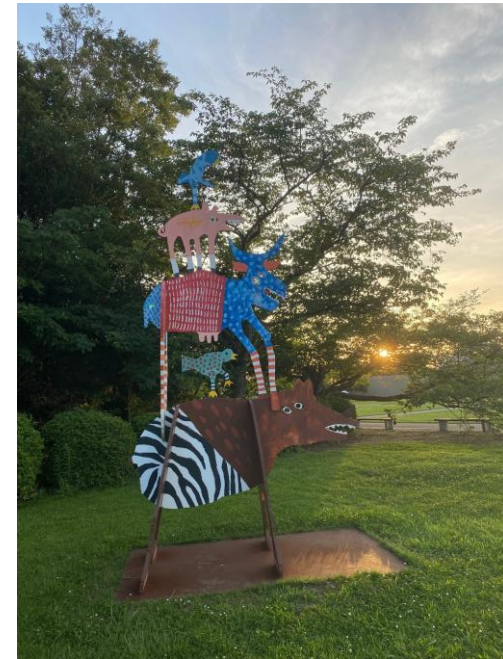
愛知県出身です



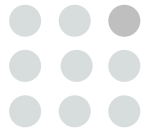
6歳男児の母です



趣味は謎解きです



山口県宇部市にある「ときわ公園」
2021年に謎解きで訪れた場所の中で
一番のお気に入りです



私の進路選択

愛知県立岡崎高校



東京大学 理科2類

ほんとうは医者になりたかった

自分にどんな学問が向いているのかわからない

自分にどんな職業が向いているのかもわからない
研究者という職業に対する興味はありました。でも研究にもいろいろある



東大の入学後に進路選択するシステムが
魅力的だと思った

大学に入って、もっといろんなことを勉強してから考えようと思った

私の進路選択

愛知県立岡崎高校



東京大学 理科2類



東京大学 農学部



東京大学 新領域
先端生命科学専攻

1,2年生向けの授業で「嗅覚」の話を知りました

中学生の頃に香りに興味を持ったことを思い出した
香りでやせたり、香りで目が覚める...同じ「香り」なのに不思議

嗅覚の研究室に行きたくて学部・学科を選択
→そのまま修士課程へ



東原和成先生
写真は研究室のHPより

私の進路選択

愛知県立岡崎高校



東京大学 理科2類



東京大学 農学部



東京大学 新領域
先端生命科学専攻



博士課程修了
博士（生命科学）

もともとは修士を出て会社で働こうと思った

研究室に博士課程の学生やポスドクが多くいた
研究能力の高さにあこがれたし、博士取得後の進路を想像することができた

実験がすごく楽しかった
自分が実験をすることがすごく好きなんだ、ということがわかった

研究をもっと深めたい もっと実験したい
自分で研究をまとめられるようになりたい
と思って博士課程に進学・修了

私の進路選択

愛知県立岡崎高校



東京大学 理科2類



東京大学 農学部



東京大学 新領域
先端生命科学専攻



博士課程修了
博士（生命科学）



花王

もともとは修士を出て会社で働こうと思った

やっぱりモノづくりに関わりたと思った

自分の研究テーマの選択はいつだって「実感できるもの」でした

いろんな製品を作ってる会社に行きたかった

生活用品と化粧品を作ってる会社良かった（実感できるから）

花王に就職

何人か先輩社員を知っていて、
出産後の復職など働きやすそうな雰囲気も感じていた

会社で研究をするということ

とても
好きのところ

- 会社にはさまざまな分野の「プロフェッショナル」がいること
- ひとつの製品をチームで作り上げること

研究

生物

化学

容器

香り

特許

安全性

などなど



研究以外

事業部

生産

購買

品質保証

デザイン

日本も海外も！

メッセージ

● キャリアを考えることは難しい

私が入りたい会社を決めたのは26歳のとき

● やりたいことが変わっても大丈夫！

学部を変える人もいるし、修士や博士で研究室を変える人もいます

● 興味があることにどんどんチャレンジしてほしい

いろんな学問に触れて、楽しいと思えることをみつけてほしいなと思います